

1 非常時持出品の準備とチェック

避難するときに必要となる物資をあらかじめ準備し、非常時にすぐ持ち出せるようリュックサックなどに入れておきましょう。また、自宅で避難生活を送ることに備え、非常用の食料や飲料水等を準備しましょう。足りないものがないか、下記の一覧にチェックをつけていきながら、自分にあった防災グッズを準備しておきましょう。

非常持ち出し品

避難時に持ち出すものです。リュックサックなどに入れておきましょう。



非常用備蓄品

災害発生後、復旧するまでの数日間を自宅で過ごすために、最低限必要なものです。1人3日分を目安に準備しておきましょう。



家族構成にあわせた準備

災害時に必要となるものは、それぞれ違います。家族構成にあったものを準備しましょう。

妊婦・乳幼児のいる家庭	要介護者のいる家庭
妊婦 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> マタニティマーク <input type="checkbox"/> 脱脂綿 <input type="checkbox"/> ガーゼ <input type="checkbox"/> さらし <input type="checkbox"/> T字帯 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 大人用紙おむつ <input type="checkbox"/> 携帯用杖 <input type="checkbox"/> 入れ歯の洗浄剤 <input type="checkbox"/> 補聴器 <input type="checkbox"/> 老眼鏡 <input type="checkbox"/> 障害者手帳 <input type="checkbox"/> おかゆなどの咀嚼しやすい非常食 <input type="checkbox"/> 年金手帳
乳幼児 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> おむつ <input type="checkbox"/> おしりふき <input type="checkbox"/> 哺乳瓶 <input type="checkbox"/> 粉ミルク・液体ミルク <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> 離乳食(ベビーフード) <input type="checkbox"/> スプーン・紙皿・紙コップ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> だっこひも <input type="checkbox"/> おもちゃ・絵本 <input type="checkbox"/> おやつ <input type="checkbox"/> 母子手帳 	ペットのいる家庭 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 飼い主の緊急連絡先・預け先などの情報 <input type="checkbox"/> 療法食・薬 <input type="checkbox"/> ペットフード(7日分以上) <input type="checkbox"/> キャリーバッグやケージ <input type="checkbox"/> 予備の首輪・リード(伸びないもの) <input type="checkbox"/> 排泄物の処理用具 <input type="checkbox"/> ペットシート <input type="checkbox"/> 食器 <input type="checkbox"/> タオル・ブラシ <input type="checkbox"/> おもちゃ

2 避難場所の確認

町は、災害時の避難先を定めています。ハザードマップなどで最寄りの避難先を確認してください。**安全な場所に親戚・知人宅がある場合は、緊急時の避難先としての受け入れについて日頃から相談しておきましょう。**

指定緊急避難場所



津波や洪水等の危険から、生命の安全を確保するため緊急に避難するところ。その場所にそのまま滞在することは想定されていません。

- 公園、学校のグラウンド、ビル等

指定避難所



災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在し、または自宅が被災した方が一時的に滞在するところ。

- 学校の体育館、公民館等

分散避難

避難所(避難場所)に行くことだけが避難ではありません。避難所の密集を避けるためにも、状況に応じた「分散避難」という取り組みも重要になってきています。

避難所(避難場所)への避難

- 自宅の水害・土砂災害の危険性が高い。
- 避難できる親戚・知人宅がない。

町が開設した避難所(避難場所)へ。



親戚・知人宅ホテルへの避難

- 親戚・知人宅やホテルの水害・土砂災害の危険性が低い。
- 避難できる親戚・知人宅がある。

親戚・知人宅やホテルに身を寄せる。

親戚・知人には日頃から相談しておきましょう。



在宅避難

- 自宅の水害・土砂災害の危険性が低い。
- 想定浸水深よりも高い階に避難できる。
- マンションなどの上層階に住んでいる。

自宅にとどまる。

(自宅内の安全な場所へ移動。)



車で避難する場合

水害・土砂災害の危険が迫っている場合、車での避難は危険です。「まだ大丈夫」と移動したのち、急に周辺の水位が上がり、車内から脱出できなくなってしまう可能性があります。



- やむを得ず、車中で避難する場合には、
- 雨がひどくなる前の明るい時間帯に、浸水しない安全な場所に移動しましょう。
- トイレなどに困る場合がありますので、簡易トイレの準備も必要です。
- エコノミークラス症候群や熱中症に十分注意し、軽い運動やこまめな水分補給等を行いましょう。